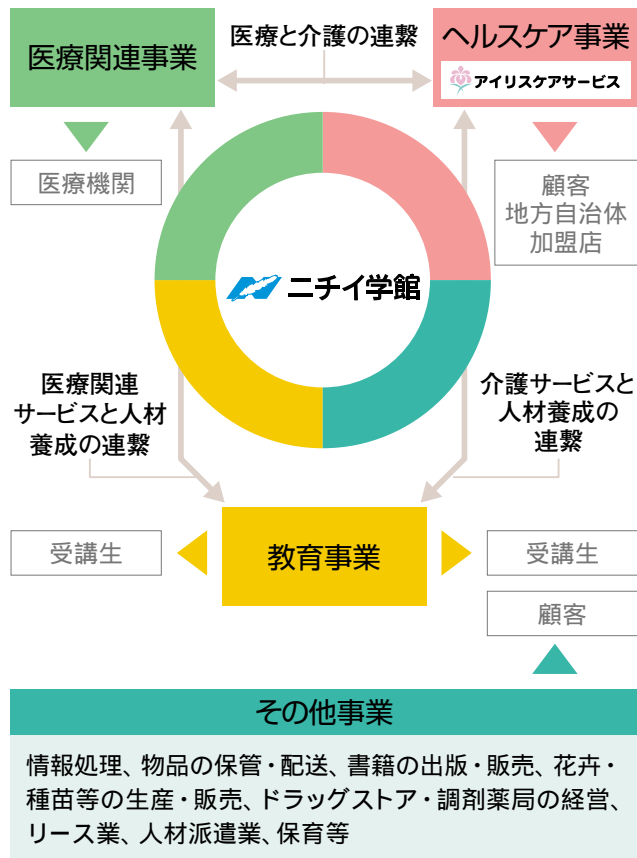




第33期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



index

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	8
営業の概況	2	単独財務諸表	11
部門別概況	4	健康くらぶ	12
Topics	6	株式・会社情報	13

表紙はニチイ学館グループのシンボルフラワー「虹の花」と呼ばれるジャーマンアイリスです。
品種名: Snow Spoon(スノー・スプーン)

新経営執行体制にて、
グループ企業の監理体制の
強化と更なる営業体制の
充実を図ります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第33期(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の決算概略につきましてご報告をさせていただくにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

平成17年5月23日に発表いたしました平成17年3月期中間決算短信(連結)の一部訂正による一連の事態につきまして、株主の皆様にご多大なご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。今後このような不備を繰り返さぬよう、内部監理体制の再強化と適時開示規則の遵守徹底に努め、皆様からの信頼回復に向けて全力を尽くしてまいります。

さて、わが国では、少子高齢化の急速な進行による人口構造の変化に伴い、年金制度や保険制度といった社会保障制度の抜本的改革が本格化しております。



こうした環境のなか、当社企業グループは、公的諸制度の改正といった事業環境の変化や、多様化する顧客ニーズに対し、迅速且つ適切に対応できる強固な企業、そして継続的発展を実現できる企業を目指し、全社をあげての構造改革を推し進めてまいりました。一方で、この大改革は、再編・整備に時間と先行投資を要することとなり、その結果、当期業績に大きな影響を及ぼし、当初の業績予想を下回りました。

しかし、現在では全社を通じて経営戦略の推進とコスト意識が浸透しており、新たな成長段階を迎えるための様々な施策や改革の手応えが随所に出始めております。

今後は、構造改革の中心である「経営と現場の距離」を縮めていくための現場改革を更に徹底・推進し、「利用者志向」の事業コンセプトのもと、サービスの拡充を推進し、リーディングカンパニーとして、医療・福祉業界全体、延いてはわが国の社会基盤の充実に貢献してまいりたい所存です。

また、株主の皆様に対しましては、安定的且つ積極的な利益還元を基本方針として重視してまいります。当期末の利益配当金につきましては、前期に比べ4円50銭増配し、一株あたり22円とさせていただきます。

なお、本年6月24日、代表取締役社長である私、寺田明彦が代表取締役会長に、また代表取締役社長にはUFJアセットマネジメント株式会社 前取締役社長・森 嶺がそれぞれ就任する予定です。この新経営執行体制にて、構造改革の取り組みを新たな段階に移行し、グループ企業の監理体制の強化と更なる営業体制の充実を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長
寺田 明彦

今期の業績

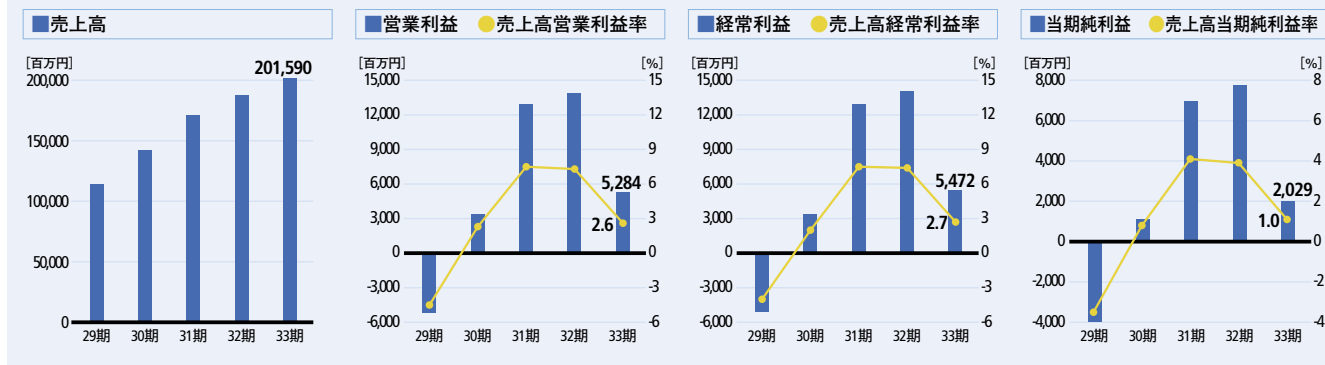
当社企業グループを取り巻く環境では、急速な高齢化の進展に伴い、医療・介護などの社会保障制度を今後も持続可能な制度へと再構築していくために、抜本的な改革が実施・議論されております。

医療保険制度では、医療費の適正化や医療提供体制の効率化を進めていくため、診療報酬体系の見直し・電子カルテ等のIT化促進など、医業経営に対する近代的且つ効率的な改革が講じられております。

介護保険制度については、平成18年4月より大幅な制度改正が実施されます。住み慣れた地域での生活を重視した「地域密着型サービス」の創設、生活機能の向上や介護レベルの進行をできる限り防止する「介護予防システム」の確立などが主な改正の焦点となっております。また、介護報酬も同時期に見直される予定であり、介護ビジネスを展開するサービス事業者にとっては、まさに大きな転換期を迎えることになります。

このような状況のもと、市場環境の大きな変化に迅速且つ柔軟に対応し得る強い企業組織を確立するため、抜本的な組織再編とサービス現場体制の強化・拡充を図ってまいりましたが、期初に実行した本社・支社・支店の機構改革による一時的

*グラフの数値はすべて連結ベースです。



な組織体系整備の遅れや、就業システムの変更に伴う先行費用の発生等が起こりました。

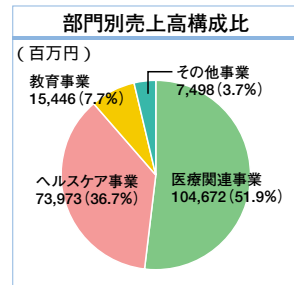
しかし、後半に入り徐々に組織体制やサービス現場体制も整備され、業績回復への対応と現場業務の効率化に注力してま

いりました。また当社中期計画である「多機能型ケアセンター計画」を平成16年10月より着手し、将来を見据えた事業戦略も推し進めております。

この結果当連結会計期間における**売上高総額**は201,590百万円(前年同期比6.1%増)となり、**経常利益**は5,472百万円(前年同期比61.0%減)、**当期純利益**は2,029百万円(前年同期比73.9%減)となりました。

次期の見通し

医療関連事業におきましては、当期に参入した病院PFI事業や医療機関との業務提携を新しい事業モデルとして捉え、医業経営を包括的にサポートできるサービス形態の開発に取り組んでまいります。また、昨年より取り組んできました現場のマネジメント体制強化により、契約内容の見直しや業務効率の改善を徹



底していくことで、安定した収益構造の構築に努めてまいります。

ヘルスケア事業におきましては、中期計画である「多機能型ケアセンター計画」を推進し、サービス体制の拡充に努めてまいります。また、利用者やその家族のニーズに的確に対応し、更には地域社会や地方自治体とのコミュニケーションを効果的に図ることで、各地域のNO.1サービス事業者を実現してまいります。

教育事業におきましては、平成17年5月下旬より、「介護予防運動指導員養成講座」を随時開講しており、ヘルパーのスキルアップ講座として需要が高まると期待しております。既存講座につきましては講座内容・価格の見直しによる受講促進を図るとともに、効率的な広告宣伝活動と教室運営の見直しを中心に、早期の利益改善に取り組んでまいります。

その他事業部門におきましては、主力の医療関連事業、ヘルスケア事業、教育事業の3事業をサポートし、シナジー効果の最大化を図ることのできるサービス展開を進めていくことで、経営の効率化に取り組んでまいります。

《平成17年3月期(第33期)決算に係わる一部訂正について》

平成16年11月に発表いたしました「平成17年3月期中間決算短信(連結)」におきまして、開示資料作成過程で、当社子会社である京浜ライフサービス株式会社の土地売却に伴う金額の集計に誤りがあったため、訂正させていただきます。それに伴い、平成17年3月期第1四半期及び第3四半期の財務・業績の概況につきましても訂正いたしました。

訂正内容

<経営成績>

第1四半期財務・業績の概況(連結)

【訂正前】第1四半期純利益910百万円(前年同期比54.1%減)

【訂正後】第1四半期純利益537百万円(前年同期比72.9%減)

中間決算短信(連結)

【訂正前】中間純利益720百万円(前年同期比80.4%減)

【訂正後】中間純利益347百万円(前年同期比90.5%減)

第3四半期財務・業績の概況(連結)

【訂正前】第3四半期純利益1,470百万円(前年同期比74.3%減)

【訂正後】第3四半期純利益1,097百万円(前年同期比80.8%減)

* 四半期及び中間連結貸借対照表、四半期及び中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書の一部にも影響しております。

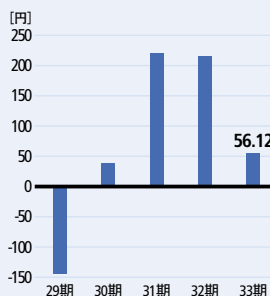
通期の業績見直しに関する注意事項

業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合がございます。

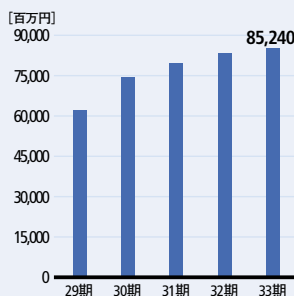
平成18年3月期通期の連結業績見直し

売上高	223,700百万円	前年比	11.0%増
経常利益	11,230百万円	前年比	105.2%増
当期純利益	6,230百万円	前年比	207.0%増

■1株当たり当期純利益



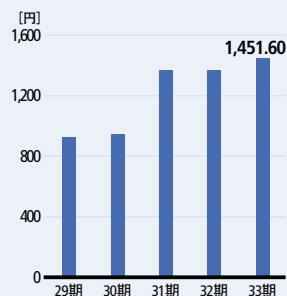
■総資産



■株主資本



■1株当たり株主資本

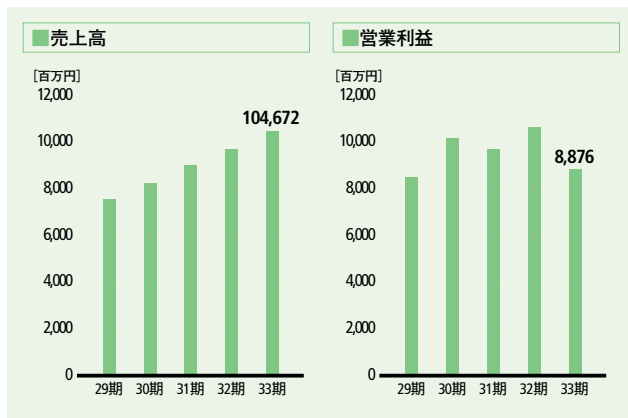


医療関連事業部門

各医療機関が抱える様々な経営課題にオーダーメイドで対応できるよう、新しい事業形態への参入やサービス内容の多様化を積極的に図ってまいりました。平成16年5月には、八尾市立病院における国内初の病院PFI事業を開始し、また同年11月には北九州病院グループとの業務提携による医療・介護の地域に密着した包括的サービス体制を構築するなど、新しい事業形態への取り組みを実施しており、売上面については、前年の伸長率を上回る結果となりました。営業費用については、大幅に変更した就業システムの管理コスト増が大きく利益に影響しております。しかしながら、徐々に強固な現場管理体制が確立されてきたことにより、ユーザー別コスト管理の徹底やサービスの質の向上など、改善効果が現れてきました。

この結果、当部門の売上高は104,672百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は8,876百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

受託医療機関の受付業務

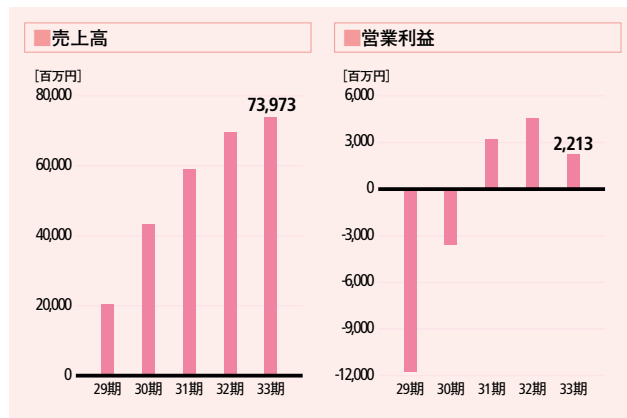


ヘルスケア事業部門

サービス需要に適応した介護サービス拠点の拡大とサービスメニューの充実を推進しております。平成17年3月末の当社介護サービス拠点数は、訪問介護事業所889カ所(前年同期比217カ所増)、居宅介護支援事業所669カ所(前年同期比149カ所増)、通所介護事業所191カ所(前年同期比7カ所増)、福祉用具事業所223カ所(前年同期比59カ所増)と計画を上回る設置状況となりました。また、平成16年10月より、「多機能型ケアセンター計画」に着手しており、新サービスとして「介護予防サービス」・「夜間ケアサービス」を一部のエリアで開始いたしました。

この結果、当部門の売上高は73,973百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は2,213百万円(前年同期比51.6%減)となりました。

デイサービスセンター



教育事業部門

医療事務講座、ホームヘルパー研修講座、ベビーシッター養成講座等の時代のニーズに即した人材の養成に努めてまいりました。また、講座内容の詳細な紹介、受講申し込みがオンラインで可能となる、医療・介護教育講座の専門Webサイト「まなびネット」を新設し、受講生獲得チャネルの拡大を図りました。

しかしながら、行政が介護従事者に求める資格要件の見直し(研修時間・カリキュラムを強化等)を検討しているという報道の影響等により、売上・受講生数ともに予想を下回る結果となりました。

この結果、当部門の売上高は15,446百万円(前年同期比11.4%減)営業利益は83百万円(前年同期比97.3%減)となりました。

ホームヘルパー講座の実技スクーリング



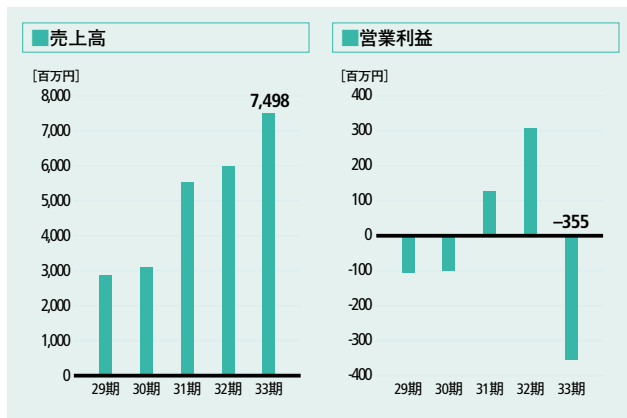
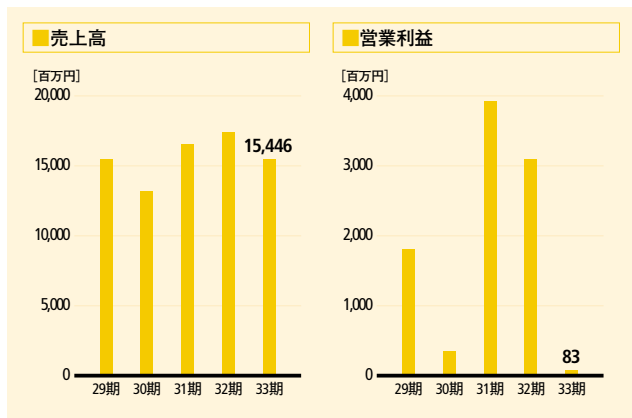
その他事業部門

福祉用具のリース業務、医療・福祉分野の出版事業、人材派遣業、調剤薬局事業、物品の保管・発送業務、花卉・種苗の生産・販売など、各種事業を積極的に展開し、黒字化推進と業務効率の向上に努めてまいりました。

なお、期初に営業拠点を拡大しました人材派遣会社「ニチイパワーバンク」の計画未達が、営業費用に大きく影響しました。

この結果、当部門の売上高は7,498百万円(前年同期比24.9%増)、営業損失は355百万円(前年同期は営業利益307百万円)となりました。

当社関連会社の保育所



多機能型ケアセンター計画の進捗報告

平成18年4月に予定されている介護保険制度改革案のポイントとして、軽度の要介護者を対象に新予防給付を導入することが検討されています。当社では、このような改正案の動向を見据え、また多様化する利用者ニーズに対応できる介護サービスの充実を図るため、介護サービス拠点を拡充する「多機能型ケアセンター計画」を推進しています。

多機能型ケアセンター計画進捗状況

多機能型ケアセンターを平成16年10月より、積極的に設置しています。この多機能型ケアセンターとは、デイサービスを核として訪問介護や居宅介護支援、福祉用具レンタル・販売等の在宅介護サービス事業が併設されており、地域の多様なニーズに応じて各機能を組み合わせ、複合的なサービスを提供できる施設です。更に、既存のデイサービスとは異なり、新たに介護予防サービスや夜間ケアサービス機能が提供できるようになりました。床面積も既存のセンターが約400㎡であるのに対し約600㎡と広く設定し、定員も25名から最大40名にまで拡大しています。



■提供しているサービス

- ▶ **介護予防サービス** 新サービス
要介護度の悪化を防ぎ、生活機能の維持・向上を目的とするトレーニングマシンを使用した介護予防プログラム「筋力向上トレーニング」を実施しています。
- ▶ **夜間ケアサービス** 新サービス
通い慣れたデイサービスセンターの静養室等を就寝場所とし、お客様をお預かりします。昼間から夜の継続した見守りの中で、お客様とご家族の生活をサポートします。
- ▶ **デイサービス(通所介護サービス)**
- ▶ **訪問介護サービス**
- ▶ **居宅介護支援(ケアプラン作成)**
- ▶ **福祉用具レンタル・販売**

オープン施設紹介 計18件 (平成17年6月現在)

アイリスケアセンター 早 鞆【福岡県北九州市】	アイリスケアセンター 新潟南【新潟県新潟市】	アイリスケアセンター 南福島【福島県福島市】
アイリスケアセンター 八 戸【青森県八戸市】	アイリスケアセンター 門 田【福島県会津若松市】	アイリスケアセンター 綾 瀬【神奈川県綾瀬市】
アイリスケアセンター 下 松【山口県下松市】	アイリスケアセンター 小 樽【北海道小樽市】	アイリスケアセンター 八 代【熊本県八代市】
アイリスケアセンター 北 上【岩手県北上市】	アイリスケアセンター おかや【長野県岡谷市】	アイリスケアセンター 前橋南【群馬県前橋市】
アイリスケアセンター は ぶ【大阪府岸和田市】	アイリスケアセンター 北坂戸【埼玉県坂戸市】	アイリスケアセンター 甲府西【山梨県甲府市】
アイリスケアセンター 盛岡北【岩手県盛岡市】	アイリスケアセンター 角 田【宮城県角田市】	アイリスケアセンター 栃 木【栃木県栃木市】

地域のニーズにより、各施設において提供するサービスの組み合わせは異なります。

多機能型ケアセンター施設内案内

介護のプロによるきめ細やかなサービスと楽しさ溢れるプログラム、要介護者に配慮した設備、これらを提供する「多機能型ケアセンター」内のデイサービス(通所介護サービス)を中心に紹介します。

センターで過ごす1日

朝9時頃、送迎車でお客様のご自宅まで伺います。センター到着後、看護師が血圧測定などの健康チェックをし、活動のプログラムや入浴が可能かどうかを検討します。入浴後は、昼食となります。午後は体操やレクリエーションで楽しみながら健康維持を促進します。3時におやつを食べ、5時頃、送迎車でご自宅までお送りします。

*プログラムは施設によって異なります。

■多彩なサービスを提供する快適空間



車いす用トイレ



車いすでの移動がしやすいように室内は広く、手すりも付けて安全に配慮。

浴室



広々とした浴槽と、丁寧な介助で無理なく入浴。更に車いすのまま入浴ができる特殊浴槽設備も完備。

施設によって、レイアウト等は異なります。

介護予防スペース



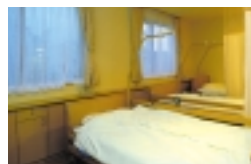
お客様の身体の機能に合わせた介護予防プログラムを組み立てて機器等を使いながら体力の維持・向上を図るスペース。

デイルーム



健康チェックや昼食の場となり、ゲーム・体操・歌などで健康維持・増進を図る快適スペース。

静養室



お客様の体調にあわせて静かに休む部屋。「夜間ケアサービス」の就寝場所としても使用。

2Fフロア

相談室

無料で、専門スタッフがお客様からの介護に関する相談に応えるカウンセリング・ルーム。

福祉用具展示室

プロが選んだ福祉用具を展示。お客様は見て触って選ぶことが可能。

連結貸借対照表

資産の部	33期	32期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
流動資産		
現金及び預金	4,058	6,107
受取手形及び売掛金	24,801	24,038
たな卸資産	4,698	4,480
繰延税金資産	1,847	1,831
短期貸付金	38	364
その他	3,133	2,371
貸倒引当金	74	31
流動資産合計	38,502	39,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,853	15,704
機械装置及び運搬具	39	60
器具備品	482	421
土地	8,002	8,707
建設仮勘定	1,235	2,224
有形固定資産合計	28,614	27,117
無形固定資産		
連結調整勘定	3,112	3,317
ソフトウェア	642	120
その他	156	160
無形固定資産合計	3,910	3,597
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831	2,889
長期貸付金	5,089	4,239
長期前払費用	104	92
差入保証金	5,022	4,483
その他	1,256	920
繰延税金資産	976	895
貸倒引当金	68	66
投資その他の資産合計	14,212	13,456
固定資産合計	46,738	44,172
資産合計	85,240	83,333

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

負債の部	33期	32期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,391	2,049
短期借入金	4,717	853
一年以内返済予定長期借入金	78	58
未払法人税等	978	3,035
未払消費税等	1,205	1,466
未払費用	13,866	13,406
賞与引当金	3,681	3,163
その他	4,254	4,810
流動負債合計	31,173	28,844
固定負債		
長期借入金	57	66
繰延税金負債	0	261
退職給付引当金	2,414	2,067
役員退職慰労引当金	128	128
その他	87	60
固定負債合計	2,688	2,585
負債合計	33,861	31,429
少数株主持分		
少数株主持分	137	111
資本の部		
資本金	11,933	11,933
資本剰余金	17,354	17,354
利益剰余金	27,562	26,713
その他有価証券評価差額金	182	41
自己株式	△ 5,791	△ 4,250
資本合計	51,241	51,791
負債、少数株主持分 及び資本合計	85,240	83,333

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

経常損益の部	33期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	32期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	201,590	189,987
売上原価	160,854	146,196
売上総利益	40,735	43,791
販売費及び一般管理費	35,450	29,921
営業利益	5,284	13,869
営業外収益	303	288
受取利息	90	90
受取配当金	-	30
事務受託料	77	48
固定資産賃貸収入	25	36
その他	110	81
営業外費用	115	112
支払利息	44	37
新株発行費	-	2
損害賠償金	42	17
差入保証金解約損	21	38
その他	7	16
経常利益	5,472	14,045

売上高

前年同期に比べ、11,602百万円増加しました結果、過去最高の売上高となりました。

営業利益

全社的な組織体制の強化に伴う諸費用の発生や、組織体制整備の遅れによる一時的な業務効率の低下により、8,584百万円の減少となりました。

特別損益の部		
特別利益	5	137
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	3	134
特別損失	435	84
固定資産除却損	71	55
固定資産売却損	244	0
ゴルフ会員権評価損	4	16
事業所閉鎖損	112	-
店舗閉鎖損	-	13
その他	1	-
税金等調整前当期純利益	5,043	14,098
法人税、住民税及び事業税	3,440	6,265
法人税等調整額	454	40
少数株主利益	27	29
当期純利益	2,029	7,762

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー

▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は471百万円（前年同期比2,368百万円の減少）となりました。これは、主に組織体制の再編・整備や拠点拡大に伴う諸経費の増加等により、税金等調整前当期純利益が5,043百万円計上されたことによるものです。

▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は4,502百万円（前年同期は資金の減少3,748百万円）となりました。これは主に神戸ポートアイランドセンター及びデイサービスセンター等の設置、ソフトウェアの取得等によるものです。

▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は1,486百万円（前年同期は資金の減少4,233百万円）となりました。これは、主にデイサービスセンターの新設・改修に向けた取引金融機関とのコミットメントライン締結による短期借入金の増加によるものです。

連結剰余金計算書

（単位：百万円）

資本剰余金の部	33期	32期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
資本剰余金期首残高	17,354	14,361
資本剰余金増加高	-	2,992
株式交換に伴う増加高	-	2,992
資本剰余金期末残高	17,354	17,354
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	26,713	19,559
利益剰余金増加高	2,029	7,762
当期純利益	2,029	7,762
利益剰余金減少高	1,180	608
配当金	626	569
役員賞与	36	36
子会社の新規連結に伴う減少高	516	-
自己株式処分差損	1	3
利益剰余金期末残高	27,562	26,713

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	33期	32期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	471	2,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,502	3,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,486	4,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の減少額	2,545	5,142
現金及び現金同等物の期首残高	5,900	11,042
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	516	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,871	5,900

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

資産の部	33期	32期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
流動資産	33,647	35,356
固定資産	46,557	41,567
有形固定資産	28,067	25,840
無形固定資産	744	228
投資その他の資産	17,745	15,497
資産合計	80,204	76,923
負債の部		
流動負債	27,287	25,703
固定負債	2,531	2,178
負債合計	29,818	27,881

損益計算書

	(単位:百万円)	
	33期	32期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
売上高	190,638	180,608
売上原価	153,167	139,237
売上総利益	37,471	41,371
販売費及び一般管理費	31,282	27,860
営業利益	6,188	13,510
営業外収益	352	350
営業外費用	102	96
経常利益	6,438	13,764
特別利益	3	137
特別損失	276	64
税引前当期純利益	6,165	13,837
法人税、住民税及び事業税	2,924	6,052
法人税等調整額	165	57
当期純利益	3,407	7,728
前期繰越利益	1,226	1,163
自己株式処分差損	1	3
当期末処分利益	4,631	8,888

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

資本の部	33期	32期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
資本金	11,933	11,933
資本剰余金	15,262	15,262
利益剰余金	28,799	26,055
其他有価証券評価差額金	181	40
自己株式	5,791	4,250
資本合計	50,385	49,041
負債及び資本合計	80,204	76,923

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

	(単位:百万円)	
	33期	32期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
当期末処分利益	4,631	8,888
これを次のとおり処分いたします。		
配当金	776	626
1株につき22円		1株につき17円50銭
1株につき普通配当15円		1株につき記念配当2円50銭
役員賞与金	36	36
(うち監査役員賞与金)	(3)	(3)
別途積立金	2,000	7,000
次期繰越利益	1,819	1,226

(注) 平成17年6月24日決議承認

健康くらぶ

今回の「健康くらぶ」では、人間の体にとって欠かせないミネラルを豊富に含む「ミネラルウォーター」をご紹介します。株主の皆様毎日の健康管理にお役立てください。

1 ミネラルウォーターとは

「ナチュラルミネラルウォーター」または「ミネラルウォーター」と製品表示がされている飲料水のことです。カルシウムやマグネシウムなどのミネラルを豊富に含んだ水のことを指します。

容器入り飲料水の表示例

品名：ナチュラルミネラルウォーター
原材料名：水
採水地：山梨県〇〇〇町
内容量

製造者：〇〇株式会社

2 ミネラルウォーターのチカラ

🌿 ストレス解消・安眠

カルシウムが豊富なミネラルウォーターには、興奮や緊張を緩和する鎮静のチカラがあるといわれています。そのため、イライラした時や眠れない時に、常温の水を飲むとスーッと気持ちが落ち着いてきます。

🌿 美肌

カリウムを多く含むミネラルウォーターには、お肌のダメージとなる有害物質を排出し、細胞に潤いを与えて老化を防ぐチカラがあるといわれています。



🌿 体質改善

硬度の高いミネラルウォーターには、脂肪が燃焼しやすく、太りにくい体質へと導くチカラがあるといわれています。



🌿 生活習慣病の予防

脂肪分の多い食事や過度の飲酒や喫煙、運動不足などは血液濃度を高めます。積極的な水分補給は、濃度の高いドロドロ血液をサラサラにするチカラがあるといわれています。

3 賢い水分補給のポイント

人の水分摂取量と排出量のバランスを考えると、一日に必要な飲料水の目安は約800～1,300mlといわれています。一度に大量の水を飲むことは避け、一回200ml程度を何度かに分けて摂取することがポイントです。ただし、腎機能や心機能に異常があって水分を制限されている人は、医師の診断に従ってください。

株主優待制度変更のお知らせ

平成17年度の株主優待制度を、申込方式から、保有株式100株（1単元）以上の株主様一律に商品を贈呈することとなりました。なお、引き続き当社関連商品をご優待価格にてご提供させていただきます。



🌿 無料プレゼント商品

当社の研究開発・情報発信センター「神戸ポートアイランドセンター」の開設記念ミネラルウォーターとして、「六甲のおいしい水」1.5ℓX8本をオリジナルラベルにて贈呈。発送は7月上旬予定です。

🌿 ご優待割引商品

ご優待割引商品の詳細につきましては、無料プレゼント商品に同封の「株主優待のご案内」をご覧ください。

株式の状況

[平成17年3月31日現在]

会社が発行する株式の総数	110,000,000株
発行済株式総数	36,508,976株
資本金	11,933,790,500円
株主数	26,010名

株主数は前期末に比べて3,117名増加いたしました。

大株主

[平成17年3月31日現在]

大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社明和	6,495	17.79
寺田明彦	4,776	13.08
日本トラスティ・サービス	2,817	7.71
信託銀行株式会社		
日本マスタートラスト	2,371	6.49
信託銀行株式会社		
資産管理サービス	1,029	2.82
信託銀行株式会社		
UFJ信託銀行株式会社	862	2.36
株式会社UFJ銀行	803	2.20
日本生命保険相互会社	727	1.99
株式会社東京都民銀行	505	1.38
加納京子	472	1.29

(注) 1. 信託銀行持株数には、信託業務に係るものが含まれております。

2. 持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

[平成17年3月31日現在]

商号	株式会社ニチイ学館
所在地	東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 TEL:03(3291)2121[代表] TEL:03(3291)3954[広報室]
設立	昭和48年8月
従業員数	5,955名(連結) 5,419名(単独)
事業所	11支社 99支店 17営業所 898アイリスケアセンター

役員

[平成17年6月1日現在]

代表取締役社長	寺田 明彦		
(平成17年6月24日、代表取締役会長に寺田 明彦、 代表取締役社長に森 嶺が就任予定)			
代表取締役副社長	谷 治 一好		
専務取締役	吉田 英二		
常務取締役	寺田 大輔		
常務取締役	黒野 庄一		
常務取締役	山田 淑子		
取締役	寺田 孝一	常勤監査役	山下 吉三
*取締役	籾 鋒 吉男	常勤監査役	小島 啓克
取締役	金井 進	監査役	大石 豊
取締役	北村 俊幸	監査役	大島 秀二
取締役	海瀬 光雄	執行役員	時枝 優
取締役	寺田 勇	執行役員	小原 ツヤ子
*取締役	石黒 不二夫	執行役員	伊藤 健三
*取締役	川口 恵子	執行役員	池田 千恵子
取締役	福田 眞弓		

*平成17年6月24日退任予定

ホームページの紹介

当社のホームページでは、会社概要、拠点情報、事業案内、IR情報、採用情報などの最新情報の掲載や食品宅配サービスのオンラインショッピング、教育講座の教室検索などができるようになっております。特に株主と投資家の皆様向けには、トップメッセージ、財務ハイライト、IRライブラリーなどを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



トップページ
<http://www.nichiigakkan.co.jp>



IRページ
<http://nichii-ir.irbridge.com/>



ご家庭向け食品オンラインショッピング
<http://www.nichiigakkan.co.jp/food/>



医療と福祉のまなびネット
<http://www.e-nichii.net>

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中
(利益配当金)	3月31日
(受領株主確定日)	その他必要がある時は、あらかじめ公告をもってお知らせします。
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号(〒100-0005) UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081) UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

決算公告は、日本経済新聞による公告に代えて、当社ホームページに掲載しております。
(<http://www.nichiigakkan.co.jp>)

変更届(ご住所・お届印、姓名など)、配当金振込指定書、単元未満株式の買取請求書、買増請求書、株式名義書換請求書のご請求につきましては、名義書換代理人のフリーダイヤル(音声テープにてご案内します)およびホームページで受付けております。

フリーダイヤル(通話料無料)
0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪支店証券代行部)
ホームページ

<http://www.ufjtrustbank.co.jp/kabushiki/>
(証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社等へご照会ください。)